

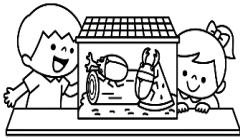
幼児保育のポイント

みんなで色々な活動や遊びを楽しむ中で、自信や思いやりの心を育ていけるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら丁寧に援助していきます。

心身ともに健康でのびのび行動できる子ども



- ① 毎日楽しく過ごす・・・「今日も楽しかった！」と思える遊びの充実を図ります。クラスでの日々の遊びや異年齢での交流、季節ごとの行事などを通しやり遂げた達成感やよろこびと自信、遊び込んだ満足感を十分に味わいます。
- ② 優しくたくましい心を育てる・・・友だちとの関わりやいろいろな経験を通して、相手の思いに気づき、認め合い、思いやりの心を育てます。その中で周りの人のことも大切に思う気持ちや、信頼関係を築いていきます。
- ③ 地域との交流・・・・・・・・・・地域の親子やお年寄りの方との交流を図っていきます。アルナ園との交流、クリーン活動、行事への招待など、地域の方々との触れ合いなど親しんでいきます。また、園庭開放などでも地域の方々に関わっていきます。(感染症拡大予防の観点から状況を見て今後実施していきます。)
- ④ 丈夫な身体と意欲を育てる・・・身の回りのことを自分で意欲的に出来るようにしていきます。自分のことを自分で行う喜びを感じ、自分の身体にも関心をもち毎日心身ともに気持ちよく、意欲的に過ごしていけるように働きかけをしています。
- ⑤ 自然に親しみ、生命の尊さを知る・・・身近な植物や生き物に触れ、さまざまな発見を楽しみ、大切にする中で命の尊さを知っていきます。花の水やりや野菜の栽培、お米作りなど行い、世話をすることの大切さや収穫のよろこびを経験します。また、食べた時の美味しさや、喜びを味わい食物への感謝の気持ちも育みます。



異年齢児交流

※年齢のちがう子ども同士で遊ぶ機会が少ない今、貴重な「異年齢」体験の場になります。(感染症等の状況を見て、実施していきます)

○なかよしの日・・・3, 4, 5歳児と一緒に活動する機会をつくります。戸外遊びやゲーム遊び、年度末のお別れ会などを行い、「一緒に遊びを楽しむこと」「力を合わせること」「感謝の気持ちを伝え合うこと」などを様々な形で経験できるような機会を取り入れています。大切にしていきたい時間のひとつです。

☆また4・5歳児と一緒に芋掘りに行ったり、生き物係の仕事(水やり・虫の世話・落ち葉集め)に励んだりと様々な場面で力を合わせて幼児クラスならではの活動に取り組みます。

年下の子は年上の子に優しく接してもらうことで心地よさを知ります。そしてその経験から、自分たちが年上になった時に年下の子へどう関われば良いかということも自然と分かるようになり、思いやりの気持ちがさらに育まれていきます。年上の子も、年下の子から慕われることによって自信が培われていく姿も見られるようになり、子どもたちが互いに刺激しあい、遊びや生活に自信を持つようになります。